

平成26年度木造建築技術先導事業 採択プロジェクト一覧

No.	補助種別	プロジェクト名称	建設地	提案者 (建築主等)	用途	延床面積 (㎡)	階数 地上 地下	補助限度額 合計 (千円)	講 評
1	木造化	(仮称) 特別養護老人ホーム 第二足立新生苑	東京都 足立区	社会福祉法人 聖風会	特別養護老人ホーム、 老人短期入所施設 等	9,023	5階 0階	203,500	国内初となる木造(ツーバイフォー工法)による耐火5階建て特別養護老人ホームの計画。構造には、枠組壁工法に用いて水平耐力を補うミッドプライウォールシステムのほか、従来のホールダウン金物に代わる高強度ホールダウン金物や独自開発のタイダウンシステムといった、いずれも中高層建築に対応したものを採用している。施工では、「木割れ軽減釘」の採用や、高所での作業負担の軽減、作業効率化を図るユニット工法(個室ユニット、バルコニーユニットを現場および工場で作成)を取り入れている。大規模な中高層の木造建築物として、先導的なモデルとなる。
2	木造化	混構造(RC造+木質系 組立構造)による5階建て 共同住宅プロジェクト	山梨県 北杜市長坂町	山梨住宅工業 株式会社	共同住宅	1,553	5階 0階	64,880	木質パネル構造としては国内初の5階建て混構造(1階RC造)となる共同住宅の計画。外壁には、屋外側を木材で仕上げた木質パネルによる1時間耐火構造外壁を新規採用することとしている。主体構造は、中層化への取り組みとして木質接着複合パネルを用いた壁式構造とRC造との上下混構造としている。また、共同住宅で問題となりやすい床遮音にも、制振ダンパーを用いた新しい構法を提案している。全国的な普及を視野に、各地域の各種木材を地産地消するための流通・製造・販売のシステム化・部品化を検討し量産化を目指すとしている。非木造が主流の中層共同住宅市場に対して、木造での置き換えが可能かを検証するモデルプランとして有効な計画である。
3	木造化	京都の地域産木材による 京都木材会館プロジェクト	京都市 京都市中京区	京都木材 協同組合	事務所、 店舗、 共同住宅	752	4階 0階	35,969	京都木材協同組合の事務所のほか、店舗、共同住宅からなる4階建ての京都木材会館を純木造で建設するプロジェクト。構造材には京都産木材を100%使用し、地場の設計事務所・工務店により中層の耐火木造建築を実現しようとするもの。1・2階は、木現し耐火部材(木材+せっこうボード+木材の3層からなる認定部材)を採用した耐火による純ラーメン構造としている。また、外周外壁の一部に、木製ルーバーを用いて、ファサードにも木質の意匠を実現している。地域に根差した木造耐火モデルプロジェクトとして、他の参考となることが期待される。

採択プロジェクト外観

1, (仮称)特別養護老人ホーム 第二足立新生苑



2, 混構造(RC造+木質系組立構造)による5階建て共同住宅プロジェクト



3, 京都の地域産木材による京都木材会館プロジェクト

